

東日本大震災から10年 — 帰宅困難者対策の再点検を

東北を震源地とし、東京でも多くの被害が生じた東日本大震災から、今年3月11日で10年となりました。

東日本大震災では、直接的な被害に加えて、東京特有の課題として、多くの帰宅困難者が発生しました。首都直下地震が発生した際には、企業には3日間の帰宅抑制などが求められています。今一度、貴社の帰宅困難者対策を見直してみませんか。

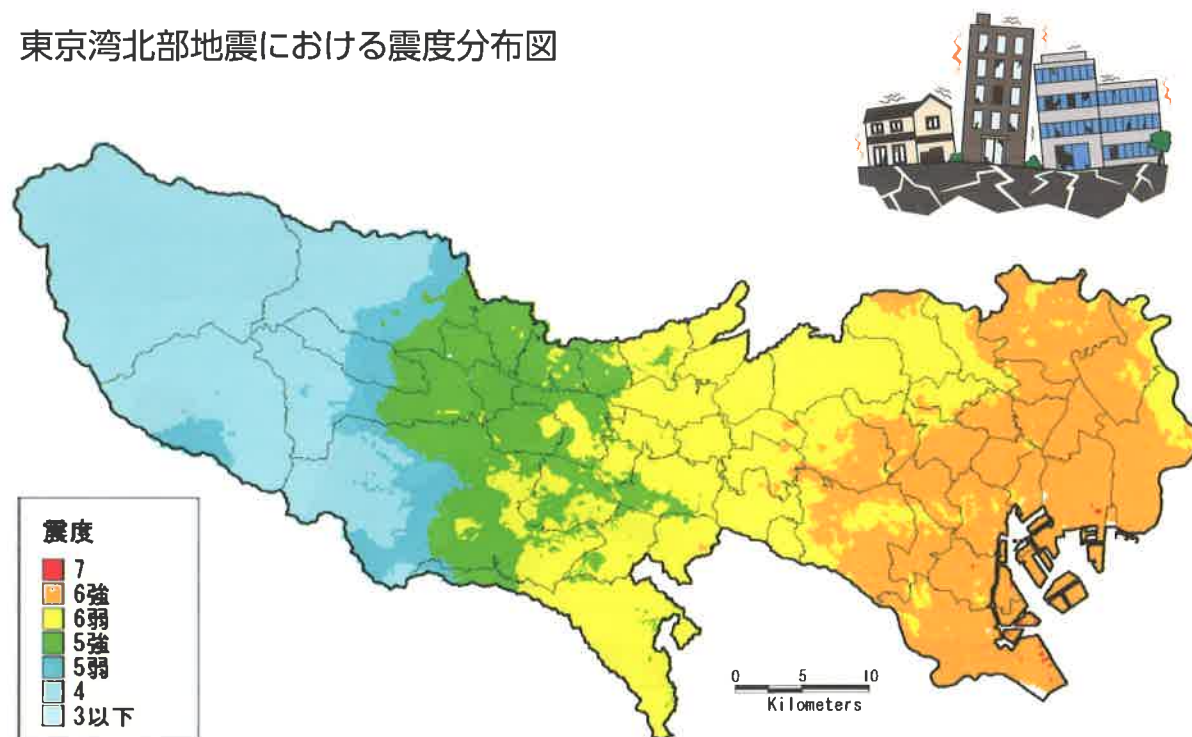
首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年4月18日東京都公表）

被害の概要

※冬の夕方18時・風速8m/秒、M7.3の東京湾北部地震発生時の想定

- 死者 約 9,700 人
- 負傷者 約 147,600 人
- 建物被害 約 304,300 棟
- 避難者の発生 約 339万人 ※ピーク:1日後
- 帰宅困難者 約 517万人

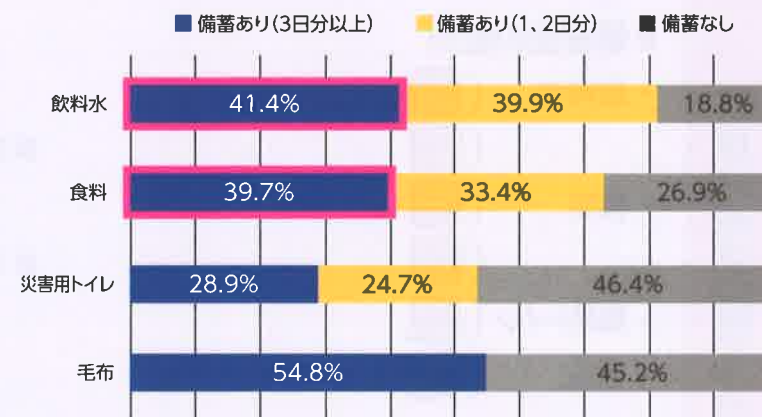
東京湾北部地震における震度分布図



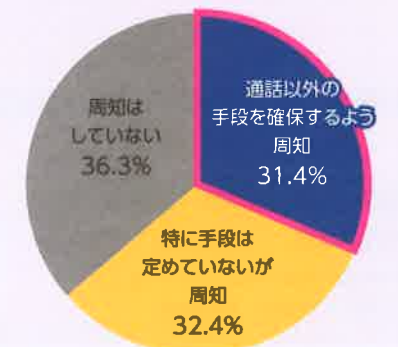
企業の帰宅困難者対策におけるポイント

- 1 従業員の一斉帰宅の抑制（むやみに移動しない）
- 2 従業員の3日分の水や食料の備蓄
- 3 従業員との連絡手段の確保
- 4 家族等との連絡手段を複数確保するよう従業員に周知

3日以上分の水・食料の備蓄を行っている企業は約4割



家族との安否確認手段として通話以外を周知している企業は約3割



東京商工会議所「会員企業の防災対策に関するアンケート調査結果(2020年5月)」

帰宅困難者対策に役立つ東京都の情報

▶ 帰宅困難者対策eラーニング

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000046/1013085.html



▶ 一斉帰宅の抑制の必要性がわかる普及啓発動画「大地震、災害時はあなたのために、帰らない」

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html



▶ 民間一時滞在施設に対する補助制度や事前の備えについて

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/index.html



▶ 一斉帰宅抑制に関する企業の取組事例集

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1006510/1006512/index.html



空欄に記入し、事務所内の目立つ所に貼って共有してください

地震発生
～発災3時間後まで

～6時間後まで

～3日後まで

混乱收拾時以降
(4日後以降)

◆施設の安全確認

- 従業員等があらかじめ作成した
チェックリストにより施設の安全を確認

参考

- 施設の安全点検のためのチェックリスト(例)

(東京都「帰宅困難者対策ハンドブック」
21ページに掲載)

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000031/1001369.html>



◆従業員等の安否確認

- 従業員の安否

(**担当者**) が
(**手段**) で
安否確認実施

- 従業員の家族の安否

- 各従業員が安否確認実施
※企業は複数の安否確認手段をあらかじめ周知

参考

安否確認ツールの例

- 災害用伝言ダイヤル171
- 災害用伝言板 web171
- SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)
- Google パーソンファインダー
- 安否情報まとめて検索「J-anpi」

◆施設内に留まれる場合

- 待機場所を指定

(**待機場所**)

- 備蓄品の配布

- 飲料水 (**保管場所**) まで
- 食料 (**賞味期限**) まで
- 簡易トイレ (**保管場所**)
- 毛布 (**保管場所**)

※備蓄量の目安(従業員1人あたり3日分)



その他は、物資ごとに必要量を算定

◆施設内に留まらない場合

- 社員等を一時滞在施設に誘導

●付近の一時滞在施設は
(**施設名**)

参考

一時滞在施設などの情報(東京都ウェブサイト)
https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1005196/index.html



◆災害関連情報を収集

- 帰宅開始の判断に向けて、
行政等の情報を収集

参考

東京都防災ホームページ

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/index.html>



◆自宅への帰宅時間・ルートを確認

参考

- 東京都防災アプリでは、「マイルート機能」を使って
事前に準備しておくことで、オフライン時にも帰宅ルート
が確認できます。

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1005744/index.html>



◆帰宅開始

- あらかじめ定めた帰宅ルールの下、
帰宅を開始

参考

帰宅ルールの策定のポイント

- 日頃から、従業員等の居住地、家庭の事情などの把握に努め、帰宅開始の順序等をあらかじめ決めておきましょう。
- 帰宅する方面等で順序を考慮しましょう。
- 従業員等が安全に帰宅したことをメール等の方法により確認しましょう。
- 従業員を班編成し、帰宅させる場合には、その班ごとにあらかじめ連絡要員を指定し、定期的に企業等と所在確認等を行うことなども検討しましょう。

(東京都「帰宅困難者対策ハンドブック」

10ページより引用)

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000031/1001369.html>



年1回以上、定期的に訓練を実施し、手順を確認しましょう

- 本チェックシートは、東京都「帰宅困難者対策ハンドブック」を基に東京商工会議所が作成しています。同ハンドブックでは、近年の災害を踏まえ、要配慮者対応や外国人対応、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策についても紹介されております。是非ご覧ください。

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000031/1001369.html>

